

2022年8月22日
東日本旅客鉄道株式会社
八王子支社

2022年度 公益財団法人東日本鉄道文化財団 地方文化事業支援 「地方文化事業支援承認書贈呈式」の開催について

JR東日本八王子支社では、支社管内の貴重な文化遺産や伝統芸能などの保全と継承を図るため、公益財団法人東日本鉄道文化財団と連携して支援を行ってきました。

2022年度の支援事業として山梨県甲州市「放光寺(ほうこうじ)所有 西藤木(にしふじき)の水車保存修理事業」、山梨県甲府市「甲斐善光寺(かいぜんこうじ)絹本著色善光寺如来絵伝(けんぽんちゃくしよくぜんこうじによらいえでん)修理事業」、東京都青梅市「御嶽武蔵(みたけ)神社皇御孫命社(すめみまのみことしゃ)玉垣修理工事事業」に対して支援を行うことが、東日本鉄道文化財団から発表がされておりますが、この度、山梨県内にて承認書贈呈式を執り行うことが決定しました。

1 「放光寺^{ほうこうじ}所有 西藤木^{にしふじき}の水車保存修理^{すいしや}事業」への承認書贈呈式【山梨県甲州市】

【事業名】西藤木の水車 保存修理事業

【場所】放光寺(甲州市塩山藤木 2438)



外観

～放光寺所有 西藤木の水車について～

- 放光寺の東側を流れる水路に大輪の下部を直結させた押し車屋で、江戸末期から昭和40年代まで実際にこの地域の産業、生活向上に大きな役割を果たし、地域の生活の大動脈でありました。
- かつては山梨県内にも多くの水車がありましたが、大輪が木製のものは現在西藤木の水車のみです。
- 水車を復活させることにより、水車や用水路と共に生きてきた、昔の人達の想いや風景を後世に残し、現代を生きる私達の心の拠り所となるようにします。

2 「絹本著色善光寺如来絵伝 修理事業」への承認書贈呈式【山梨県甲府市】

【事業名】 絹本著色善光寺如来絵伝 修理事業

【場所】 甲斐善光寺(甲府市善光寺三丁目 36 番1)



如来絵伝

～甲斐善光寺 絹本著色善光寺如来絵伝について～

- 甲斐善光寺は、川中島の戦いの折、信濃善光寺の寺宝が 戦火により失われることを武田信玄が惜しみ、弘治 3 年(1557)甲府へ移し、翌年、現在の地に伽藍が建てられました。
- 絹本著色善光寺如来絵伝は室町時代 15 世紀代の作成です。武田信玄が信濃善光寺から、他の宝物類とともに甲斐に移した際に請来したものと考えられています。平成 10 年山梨県指定有形文化財に指定されました。
- 全国にある中世に作成された善光寺如来絵伝8本のうちの1本で、約 400 年ぶりの本格的な修理事業となります。今回の支援では、二幅の修理を行うことにより、貴重な文化財を後世に伝えていきます。

ご参考

「武蔵御嶽神社 皇御孫命社玉垣修理工事事業」【東京都青梅市】

【事業名】 武蔵御嶽神社皇御孫命社 玉垣修理工事事業



外観

～武蔵御嶽神社皇御孫命社玉垣について～

- 武蔵御嶽神社は創建が崇神天皇の御代と伝えられ、現在の幣殿拝殿は徳川 5 代将軍綱吉によるものです。
- 皇御孫命社(すめみまのみことしゃ)は、現在は天皇家の神祖といわれる天照大神の孫、天瓊瓊杵尊(あめののにぎのみこ)ご祭神としていますが、明治になるまでは東照社(ご祭神:家康公)でした。東照宮を想起する葵の紋が各所に残ります。門と玉垣に囲まれ、小規模ながら立派な構造の建物は、元禄13年に建立、文化 3 年に勧化により修理され、江戸末期頃葺き替えた瓦棒銅板葺の屋根を、令和 3 年に腐朽修理工事で平葺に戻し現在に至ります。
- 今回の支援では、皇御孫命社玉垣の修繕として玉垣の立て替えとともに、江戸時代のように赤い塗装を施し、過去の玉垣を復活させ末長く保存していきます。